

学校教育 目 標	確かな学力と豊かな心を育み、たくましく生きる子どもの育成 ～一人ひとりが認められ、大切にされる大滝小～		
大滝小学校だより		校長 大橋 太	
平成29年11月1日		第12号	
合言葉	やりきる	やりぬく	やりとげる

○大滝全体を上げての大滝小まつり

ありがとうございました。

当日は、大滝小学校創立130周年記念式典がはじめに行われ、井桁同窓会会長より大滝小学校の130年のあゆみの振り返りが画像を使って説明されました。写真や、エピソードをちりばめながらの丁寧な説明に、会場は懐かしさと感激でいっぱいでした。

その後、大滝小まつりの開会式が行われ、ステージ発表での各学年の発表内容の紹介がされ、展示コーナーでの体験コーナーへと進んでいきました。

各学年の発表内容

1年生（展示コーナー紹介）・・・木の実などで作ったもののお店

2年生（おもちゃコーナー紹介）・・・作ったおもちゃで遊び体験

3年生（展示コーナーの紹介）・・・多賀町のよいとこカルタ遊びと展示

4年生（展示コーナーの紹介）・・・地球にやさしいエコ作品と説明

5年生（FS・犬上川・米作りの関係紹介）・・・稲作の歴史・米作りごよみクイズ

6年生（地域のよさPR動画発表）・・・地域学習で学んだことを掲示やクイズ、ゲームなどで発信

特に、6年生の発表は、大好きな大滝について、多くの人たちに知ってもらいたいという思いで、工夫に工夫を重ねて制作したPR動画を学習の成果として発表されました。

どの学年のブースも子どもたちの真剣な説明が飛び交っていました。参加した皆さんから、多くの感動の声をいただきました。



11月

1（水）言の葉書道展（～5日）

2（木）1・2年校外学習（彦根）

6（月）あいさつ運動推進週間（～10日）

7（火）保幼小交流会（1年）

9（木）5年校外学習（鈴鹿）学びっこタイム
さんさん号

10（金）委員会 学びっこタイム お話玉手箱

11（土）～13（月）犬上郡展（日栄小）

14（火）2年図書館見学

15（水）マラソン大会

16（木）学びっこタイム マラソン大会予備

17（金）お話玉手箱 学びっこタイム

22（水）2年にんじん収穫活動 6年平和学習

24（金）3年校外学習 学びっこタイム 5年夢先生

27（月）クラブ活動 4年老上西小授業交流

29（水）県下一斉清掃活動 4年人権ワークショップ

30（木）6年狂言鑑賞 学びっこタイム



○「やまのこ」事業で4年生が高取山で合宿をしました。

10月19・20日多賀小学校の児童といっしょに一泊二日の体験学習を行いました。最初は他校の児童と同じということで、緊張した表情でしたが、名刺の交換などをしてからは、随分と和んだ様子でした。

「やまのこ」事業の学習のめあては次の4点です。

- ①森林に興味をもったり、親しみをもつ。
- ②森林のはたらきや重要性について理解を深める。
- ③森林の中の危険性に気づき、回避する力を身につける。
- ④ルールを守り、楽しく体験学習をすることで、優しさや思いやり、協力し合う心をはぐくむ。



当日はあいにくの雨でしたが、「森林ウォーク」をした後、森林学習や班別のレクリエーション協議等で交流を深めました。多賀小学校の人とも友だちになれて、充実した二日間になりました。

○今年も待ちに待った「いわな給食」で 全校が盛り上がりました。



10月11日(水)には、全校児童による「いわな給食」を実施しました。前日に地域のボランティアのみなさんの協力を得て、犬上川の河原でいわなの内臓等の取り出し作業を行いました。関係の方々のお協力ありがとうございました。

当日は夏のような天気となりましたが、班ごとに「いわなを焼く」、「おにぎりづくりをする」担当に役割を分担しました。特に6年生はいわなに塩を振り串に刺し、5年生は自分たちで田植えをし刈り取りをした新米でおにぎりづくりをしました。

いわなを地元産の「大滝炭」で焼き、丁度良い具合に焼けたのを確認した後、いわな2匹とおむすび2個を食器に載せて食事の準備をしました。この楽しい「いわな給食」もたくさんの地元のボランティアの皆さんの協力で実現していることを確かめたあと、子どもたちは、「おいしい」「おいしい」と言いながらいわなとおにぎりをいただきました。今年のおいわなは例年よりも大きかったということもあり、おいしさでおなかいっぱい最高の一日でした。

○いつ起こるかわからない地震に備えて 緊急地震速報を使っての避難訓練を行いました。

10月24日(火)に大滝幼稚園と合同で避難訓練を行いました。

今回の避難訓練のねらいは、①緊急地震速報が発令された時の対応を学ぶ。②休憩時の避難の仕方を学ぶ。③地震の時の避難経路とともに、避難の基本の徹底を確認するです。

休み時間中に緊急地震速報が発令され、数秒後に震度5強の地震が起こったという想定で行いました。揺れが収まった後、第1次避難場所へ避難し、その後、ダムが決壊の恐れがあり、第2次避難場所へ移動しました。

特に、緊急放送が始まったら、その場で静かにし、指示内容を聞くことや、それぞれの場所から「おはしもち」で素早く避難することを確認しました。

(お：押さない は：走らない し：しゃべらない も：もどらない ち：近づかない)